

# 定例観察会報告書 ～冬の常緑樹林の観察～

2008.02.10

六甲山自然案内人の会

コース：塩屋→旗振り山→鉢伏山→須磨浦公園

集合：JR塩屋駅AM9:00

参加人員、会員21名、受講者2名、ビジター9名、計32名。

前日の大雪で道の状況が心配でしたが、好天に恵まれて楽しい観察会が開かれました

塩屋の坂を登ると、屋敷跡のような広い場所があるので  
人数確認と、記念撮影のあと三々五々観察を始めました

大きなヤマグワ、サクラ、アカメガシワ、ウバメガシ、アベマキ、コナラ

ウバメガシ、クスノキ、ビワ、ヤマモモ  
ヒメユズリハ、カクレミノ、ネズミモチ、ヤブニッケイ  
モチノキ、シヤシャンボ、ヒサカキ、カゴノキ



須磨浦山上遊園、旗振り山からの瀬戸内海や須磨海岸の眺めは素晴らしい

播磨と摂津の国境で、昼食をとりました  
旗振り山では、昔、米相場の連絡網として旗を振って伝達したらしい

蝸牛角振り分けよ須磨明石 芭蕉

「タカ柱」が見ることができるポイントでもあるらしいです



茶屋から鉄拐山を迂回して周遊路を須磨浦ロープウェイ方面に向かいます

このあたりから、樹皮がパッチワーク状にむけているカゴノキが目立つようになる  
若い木はほとんどむけてないし、葉も大きな特徴がないので、分かりにくい

ウバメガシの林を抜けて、ツルアリドオシが  
一面に広がり「目」を二つもった赤い実がたくさん生っていた

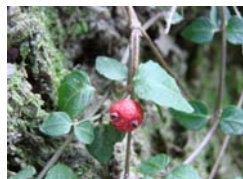
### 当日確認された野鳥、溝淵さんのレポート

- 1.トビ 2.キジバト 3.コゲラ 4.ヒヨドリ
- 5.ウグイス 6.ジョウビタキ 7.ルリビタキ
- 8.シロハラ 9.ツグミ 10.メジロ 11.エナガ
- 12.シジュウカラ 13.ヤマガラ 14.スズメ
- 15.ハシトガラス 16.ハシボソガラス

- 解散後 17.ハイタカ 18.カウ 19.ユリカモメ
- 20.セグロカモメ 21.ウミネコ



カゴノキの葉と冬芽



ツルアリドウシの実



ヤブニッケイの虫こぶ



ヒメユズリハ

解散：PM2:30 須磨浦ロープウェイ山上駅

\* 当初の計画から距離を短くしてゆっくり観察しました

\*\* 先頭のグループと後半のグループが離れてしまい、途中で道を迷われた方がいらっしゃいました  
迷いやすいコースでしたので案内をもう少し詳しくすべきでした

担当：福本、大平、中塚  
たくさんの方に説明ご協力いただきありがとうございました